



田尻町議会だより

たじりの風

8427人

Vol.129

令和3(2021)年
11月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



10月16日
たじりエンゼルで
運動会が
開催されました



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 7 頁
- ★ 審議結果(9月議会) 9 頁
- ★ 12月議会の日程 9 頁
- ★ 議会討論会／災害対策特別委員会 10 頁

9月議会 一般質問

- 原 明美 議員
 1. 災害時の対策について
 2. 田尻中学校のクラブ顧問について
- 金田 裕治 議員
 1. 役場の土日開庁について
 2. 役場の組織体制について
 3. 各種団体の事務パートについて
- 大門 久恭 議員
 1. 田尻町内の下水道100%通す予定はあるのか
 2. 戸別受信機貸出しの進捗について
- 坂口 実 議員
 1. 新型コロナウイルス対策強化を
- 東 小夜子 議員
 1. 通学路の安全確保について
 2. 小中学生の熱中症対策について
 3. 図書除菌機を小中学校図書室に
- 吉開 育子 議員
 1. 福祉風呂を修繕し継続を求める
- 小川 雄司 議員
 1. ワクチン万能論から脱却し無症状者のPCR検査を推奨し費用助成を
 2. 臨時医療施設の設置を
 3. 子どもの発熱対策を
 4. 移動困難者支援・移送サービスの実施内容について
 5. (仮称)総合文化センター建設について
 6. 新たな広場の整備を
- 仁部 順行 議員
 1. 吉見ノ里駅前周辺整備事業について
- 射場 隆裕 議員
 1. 空き地の有効活用について
 2. 駅前商店街の今後の展望

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)
・ 閲覧方法・田尻町のホームページ
www.town.tajiri.osaka.jp/ ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



原 明美 議員

問 安全安心まちづくり推進局の役割は

答 地区会自主防災会等との連携強化を図る

問 今年4月に『危機管理課』から『安全安心まちづくり推進局』になった。創設の目的は。

答 秘書課長 頻発化・激甚化する自然災害や犯罪から住民を守るために、地域と行政が一緒に考え力を合わせて行動し、一人も取り残さないまちづくりをめざしていくために創設した。

問 仮称総合文化センターの避難所としての機能は。

答 安全安心まちづくり推進局課長 非構造部材を含めた耐震化・不燃材の促進、浸水対策、備蓄倉庫の整備、換気、照明、空調、非常用電源の整備など、

今後良好な避難所環境となるよう協議をしていく。

問 中学校のクラブ活動の現状は

答 運動部が4、文化部が5、加入率97%

問 教師にとってクラブ顧問が負担になっていないか。部活動指導員制度を利用してはどうか。

答 教育次長兼指導課長 教師の負担になっているのは事実である。教育委員会としては負担を減らすための取り組みはしている。

部活動指導員は確かに負担削減につながると思うが、人材確保が厳しい。現在本町では学生ボランティアまなび舎ユース(学習支援アドバイザー)事業を行っており、その拡大を考えている。

問 教師の働き方改革についての考えは。

答 教育長 働き方改革というのは、元気な子どもを育てるための元気な教員づくり。そのために働き方改革については強力的に進めていく。



金田 裕治 議員

問 役場の土日開庁を行って
みてはどうか

答 町民からの要望がないので考
えていない

問 役場の開庁時間は平日の8時45分
から17時15分までとなっており、
いわゆる会社員のような方が利用
しにくい状況である。月に1回でも
いいので、土日開庁して各種相談
業務の受付等をしてはどうか。

答 **秘書課長** 担当課に確認したが、
町民からの土日開庁の要望はな
かったので、開庁は考えていな
い。

問 虐待など24時間待たなしの話も
あるのではないか。

答 **秘書課長** 命に関わるような
相談事があれば、

土日であっても担当課に連絡が
いって対応する体制は整っている。

問 団体の事務パートの公募や
選考も公平に

答 町とは別団体であるため、
指導は好ましくない

問 役場が補助金を出している団
体の事務パートについても、役場
同様に毎年募集や選考を行うべき
ではないのか。

答 **総務課長** 町とは別の団体
であるため、採用や人事に対して
直接意見を言うことは好ましく
ないと考えている。

問 10年以上同じ人がパートを
している団体もある。役場から
補助金が出ている団体なので
あれば、少なくとも募集等は毎
年行うべきでは。

答 **総務部長** 団体が違うので、
そこまで指導するのは好ましく
ないと考えている。



大門 久恭 議員

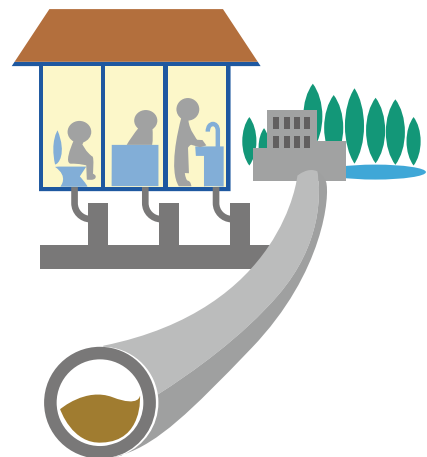
問 田尻町内の下水道を100%
通す予定はあるのか

答 慎重に協議・検討を進めて
いく

問 田尻町内では、約97%下水道
整備が進んでいるが、いまだに
整備の進んでいない地域があり、
以前から同じように田尻町に税
金を払っているのに、なぜ下水
道の整備をしてくれないのかと
いう不満の声がある。町の説明
では、調整区域であり認可区域
外のため、下水道整備を行わ
ないととのことである。しかし
ながら、建築許可を得て、そこ
で生活している住民さんがいる
以上、財政豊かな田尻町として
下水道整備100%になるよう
にすべきではないか。

答 **土木下水道課長** 下水道
整備については平成13年度に
市街化区域の汚水整備をほぼ
完了し、市街化調整区域の汚
水整備について平成16年度
まで実施

したが、現在は休止している。
下水道汚水整備については、
現状厳しい下水道会計にお
いて、今後の料金改定をにら
みながら、新たな整備による
使用料への影響なども考慮
する事が必要であり、費用
対効果の検証や今後の財政
シミュレーションを行い、
慎重に協議・検討を進める。





坂口 実 議員

問 新型コロナウイルス対策強化を

答 ワクチン接種を進める

問 ワクチン接種について現在の接種状況と9月19日の最終の集団接種会場での予約数を含め、年代別集計の報告を求める。中等症病院を持たない町の次の対策はないのか。町の協議と独自対策を求める。

答 **健康課長** 8月29日時点の接種実績は、70歳以上が1,498人、60歳代が638人、50歳代が856人、40歳代が735人、30歳代が376人、20歳代が606人、10歳代が182人となり、全数は4,891人。9月の予約数が177回分を上乗せすると、接種完了者が約5,068人と想定され、対象者数の65.5%の方が接種することとなる。1回目の接種完了者を含めると約5,718人となり、全体の73.9%と想定となる。感染者の健康管理を大阪府の役割とし、本町はワクチン接種を進める。

問 新型コロナウイルス変異株の対策が、政治不信にもつながっている。カクテル療法も病院を持っていないので対応できない。ブレイクスルー感染がおき、3回目のワクチン接種が検討されている。長期的に考えれば、南海トラフ地震被災想定が最大1,460人の負傷者があることも考慮し、入院施設に近い状態の施設をふれ愛センターで設置すべき。地元5医療機関と協力を頂き、対応できる災害時の備えとなる施設とする。基礎自治体の田尻町でつくるのは本筋ではないか。

答 **民生部長** 大阪府で措置されるべき。

問 今後も政府、府の方針に従わざるを得ない。独自策を何か町長は考えているか。

答 **町長** 保健所が持っている感染者情報は基礎自治体に公表されていない。治療薬も開発されていない。重症化を防ぐため酸素吸入をする。ワクチン未接種の人に、はがきを送り接種を促す。若い人ほど感染が増えているが、若い年代はワクチン接種率が低い。我々は若い人たちに一日も早く接種を済ませることが、一番最重要の仕事だと認識している。



東 小夜子 議員

問 通学路の安全確保は

答 具体的なメニューを検討し実施する

問 やちまたし 千葉県八街市で小学生の列にトラックが突っ込み5人が死傷した事故を受けて、文部科学省などは通学路の合同点検を実施する。9月末をめどに実施し、見つかった危険箇所について学校や教育委員会を中心に対策案を作成する。田尻町の取り組みは。

答 **土木下水道課長** 田尻町通学ルート交通安全推進会議により要対策箇所の点検改善を継続的に実施し、危険箇所については具体的な対策メニューを検討し実施する。

問 嘉祥寺南の交差点は青信号で渡っているのに車

が来て危険と保護者の方から相談を受け、現場をみても危険を感じる。合同点検の時岸和田土木や警察に強く訴えてほしい。

答 **土木下水道課長** 対策については検討し府、岸和田土木、警察に伝える。

問 小中学校の熱中症対策は

答 クーラーのある教室で休憩をとっている

問 体育館のクーラー設置は来年になると聞いている。この夏の熱中症対策としてミスト等考えては。

答 **学事課長** 熱中症に対して細心の注意を払って様々な活動を実施している。ミストシャワーは以前実施していたが、より効果的な対策としてクラブ活動等においてはクーラーをかけた教室等で休憩をとるなど実施している。



問 福祉風呂を修繕し継続を求める

答 公共サービスとして必要か検討する

問 福祉風呂は水漏れにより、3月11日から休止となっている。担当課より修繕には合計5,700万円必要であり、「行政サービスとして必要かどうか」と問題提起された。町民の方から「福祉風呂に行けばみんなに会える。」「家で一人でお風呂に入るのは怖いので福祉風呂は助かる。」「修繕して再開してほしい。」と要望がある。ふれ愛センター3階にある老人福祉センターの教養娯楽室と福祉風呂は高齢者の居場所づくり、健康づくりに役立っている。福祉風呂をなくすことは福祉の後退になる。ふれ愛センターは、災害時の避難所であり、災害時にお風呂は必要である。「田尻町個別施設計画」では、対策の

優先順位の中に「防災の視点から、災害時に活用される施設の修繕を優先する」と書いている。修繕予算を計上し継続を求める。

答 **福祉課長** 福祉風呂に限らず町内の集会所で居場所づくり事業をスタートさせている。民間の入浴施設が町内にできており、公共サービスとして入浴施設が必要か検討したい。

民間の入浴施設への利用補助について協議中であるが、民間施設と連携したい。避難所にお風呂は必要だが、大きな災害で福祉風呂も壊れたら利用できない。

答 **民生部長** 修繕するための予算の計上については、福祉風呂存続か、廃止か方向性がまだ出ていないので提案しない。



問 「大阪PCR検査センター泉佐野」で田尻町民も無料で検査を

答 感染拡大予防にはつながらない

問 症状のない泉佐野市民が検査を受けることができる「大阪PCR検査センター泉佐野」がりんくうタウン駅ビルに今年度末までの予定で開設されている。感染力が強いデルタ株の感染無症状者をいち早く発見し、感染を食い止めるため、ワクチン接種に加え、このセンターで田尻町民も無料で検査を受けられるように検査費用を助成すべきである。



大阪PCR検査センター泉佐野

答 **健康課長** 無症状者のPCR検査は検査時の一時的なもので安全を担保したものではなく、偽陽性や偽陰性の問題があり、感染拡大予防にはつながらないと考えるため助成はしない。

問 高齢者へのタクシー利用補助の対象を幅広くすべき

答 専門職の意見を聞きながら決めたい

問 共産党議員団は、タクシーの初乗り運賃を助成する福祉タクシーの導入を求めており、町が検討し始めたことは歓迎する。通院・買い物支援として要介護認定を受けていない高齢者も対象にしていただきたい。

答 **福祉課長** 移動困難な高齢者の支援方法については、タクシー利用助成が望ましいと考えている。今後、専門職や医療関係者の意見を聞きながら、対象者や利用回数を慎重に決めたいと考えている。



問 吉見ノ里駅前周辺整備事業は

答 駅前周辺の安全性と利便性の向上を図る

問 吉見ノ里駅前周辺整備事業の全体整備計画は、栗山町長の公約で田尻町の玄関口、田尻町の顔として進められている。しかしながら、この事業計画では不十分で、将来的に周辺住民の負担、迷惑にならないよう駅前商店街の道路拡幅及び南海本線の平行道路用地買収も含め完成まで同時進行で進めていただきたい。

答 **都市みどり課長** 駅前周辺整備事業は、長年停滞していた時期もあり、現在ようやくこの段階まで進んだ。今年度は保線区内の解体工事等、来年度

は駅の整備及び令和5年度には踏切の拡幅工事に至る。しかしそれだけで事業は完結ではなく、南海本線の平行道路及び駅前商店街の道路拡幅等、全体計画に基づいて、同時進行で進めることを検討する。



問 空き地の有効活用を

答 自由度の高いストック用地として保持していく

問 警察学校浜側にある、空き地、りんくう中地区公園予定地の今後の展開について伺いたい。また、消防センター横の空き地、有効活用は。

答 **都市みどり課長** りんくう中地区公園予定地については、府営公園が整備され、令和3年、4年と設計業務を進める予定。供用開始は未定。消防センター横の空き地は、本年度教育センター建設工事のためのバックヤードとして活用した。フリースペースにすると近隣の民家にボール等が当たったりと懸念が出るため難しいが、相談内容等によっては使用可能な場合もあり、公として自由度の高いス

トック用地として保持していくことも一定意味がある。

問 駅前商店街の今後は

答 駅前商店街の活性化を必要不可欠と考える

問 吉見ノ里駅前周辺事業が行われる中、田尻町玄関口の吉見ノ里駅前商店街、活気が戻るような田尻町の対策は。

答 **産業振興課長** 昨年来、コロナ禍で地域振興券を発行し、住民支援と併せて駅前商店街をはじめ、町なかの店舗の応援をしてきた。様々な地域で取り組まれている商店街の活性化の成功事例を紹介しながら、こういったことも参考にして、ともに勉強して考えていく。

9月議会 委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 大門 久 恭

審査結果並びに経過報告 (9月6日開催)

◎押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

問 全庁的に一括改正するということが、廃止する、残すとかはどのように決めたのか。

答 それぞれの押印見直しの必要性については、国のマニュアルで示されており、それに基づいて、押印が必要であるか、継続して押印を求めるものであるかを個別に判断して改正を進めていくものである。

問 住民への周知はどうするのか。押印を残すものもあるのに、もう押印はいらないと印鑑を持たずに来たときに、これは印鑑が必要と言われる場合が出てくる。このようなことがないように、周知すべきでは。

答 ホームページや広報紙において、引き続き押印を求める手続等について、重点的に広報していく。

◎令和3年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件 (2億2,454万4千円の増額) 【全会一致で可決】

問 吉見ノ里1号踏切道拡幅等工事に係る設計業務負担金だが、設計は南海電鉄により行われるが、その費用は全額町の負担なのか。また、機器の更新の有無も含んでいるのか。

答 今回の設計業務については、南海電鉄との協定に基づき、町の全額負担となる。ただし、国の補助金(補助率55パーセント、約600万円)を申請をする予定である。また、機器の更新を含む踏切拡幅工事の費用についても町の負担となる。

文教厚生常任委員会

委員長 金 田 裕 治

審査結果並びに経過報告 (9月7日開催)

◎令和3年度田尻町一般会計補正予算(第3号)の件 (2億2,454万4千円の増額) 【全会一致で可決】

問 葬祭場空調設備更新工事とあるが、葬祭場全体の空調設備を更新するのか。

答 葬祭場のホールの空調設備更新工事である。ホールには3台の空調があるが、そのうち2台がこの夏続けて故障した。また、葬祭場ができて26年経ち、空調もかなり古くなっており、今後色々と不具合が出てくる可能性が高いので、これからの円滑な運営を考慮して入れ替え、3台撤去2台新設とする。

問 2階の空調も老朽化していると思うが。

答 葬祭場には1階と2階合わせて計11台の空調がある。順次更新を進めて、安定的な葬祭場運営に努めていきたい。

◎令和3年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)の件

(746万6千円の増額) 【全会一致で可決】

問 去年はコロナ感染拡大により、高齢者も運動不足や出かけることが減って病気になる方が増えたとか聞かすが、予算の中でそのあたりは影響はあったか。

答 国保の医療費については、去年のコロナで受診控え等があり、約2千万円支出が減少している。

問 特定健診もコロナで中止などがあり、受ける人も減ったのではと心配するが、受診率はどうか。

答 令和2年度の特定健診受診率は、36.6パーセントであった。

◎令和3年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第1号)の件

(1,555万6千円の増額) 【全会一致で可決】

問 コロナで色んな事業が中止となって、高齢者は運動不足であるということを知っている。そのような中で、要介護や要支援になった人が増えたのか。

答 コロナの影響かどうかはわからないが、要介護認定率が1年間で約2パーセント上がった。

決算特別委員会

委員長 東 小夜子

審査結果並びに経過報告 (9月9日開催)

◎令和2年度田尻町一般会計決算認定の件

【全会一致で可決】

歳入

問 新型コロナウイルス伝播の影響を受けて、入ってこなくなった税収の額はどのくらいか。

答 減収となった主なものは法人町民税である。法人町民税は、令和元年度に比べると2年度は5億円

減収している。このうち、法人税割の税率変更による影響額や徴収猶予となっている額を除くと、コロナによる実質の減収額は3億2,000万円である。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として8,152万1,000円収入されているが、町がコロナ関係で、町単独事業として実施した事業の支出額はいくらで、事業数はいくつなのか。

答 町の単独事業として実施したものは2億1,500万円程度、補助金を含めて17事業であった。内訳は、水道料金の一部負担助成、地域振興券、子育て世代への特別給付金、等である。

歳出

総務費

問 田尻町地域づくり活動助成金の使い道は。

答 住民団体による自主的なまちづくり活動の初期段階、主に3年間を経済的に支援する補助金である。令和2年度がこの事業の初年度であり、審査の結果、田尻町観光協会と田尻野菜フレッシュクラブに補助を行った。

問 本庁舎の宿直業務委託料が1,000万円である。前年度は649万円であったが、上がった要因は何か。

答 本庁舎の宿直業務委託は、3年間の長期継続契約で、入札を行って業者を決定している。令和2年度分については、入札の結果1,000万円となったものである。

問 ホームページ更新委託料等とあるが、現在どのような作業が進んでいるのか。また、いつスマホに対応した画面に切り替わるのか。

答 ホームページに関しては、再構築を委託する事業者をプロポーサルで募集し、最優秀提案者を決定したところである。現在契約に向けた交渉を行っているところであり、現在抱えている田尻町のホームページの課題を解決し、携帯やスマホからも見やすい画面が実現できる見込みである。新しいホームページの開設時期は令和4年6月を予定している。

民生費

問 長寿祝金は今年は何人の方に支給したか。また今後も同じ形で続けるのか。

答 内訳としては70歳が100人、77歳が96人、80歳が102人、88歳が45人、90歳が36人、95歳が6人、99歳が3人、100歳が1人、101歳以上が1人で、合計390人であった。今後も継続していく予定である。

消防費

問 台風21号の被害による住宅改修支援金は、令和

2年度で終わりなのか。またその実績数は何件あったか。

答 もともと令和元年度末をもって締め切りの予定であったが、申請後改修が未実施の方があったため、6か月延長し、令和2年9月末までとした。締め切る際も全員に電話で状況を確認し丁寧に説明したのちに締め切った。件数については、仮申請が752件、そのうち本申請をした方が680件であった。

教育費

問 尾張池スポーツ公園管理業務委託料とあるが、こちらの使用率はどんな感じか。テニスコートの状態があまりよくないと思うが、修繕などの予定はあるのか。

答 平日はほぼ申込がない状態である。令和元年度に一度修繕をしたが、また一部傷んでいる部分がある。今後修繕は全体的に行うか部分的に行うか検討させていただく。

答 利用者がかなり少ないと思うので、テニスコート自体をどうするか、そろそろ検討したほうがよいと思う。

賛成討論 (仮称) 総合文化センター基本構想においては、公民館をどうするのかという問題が残ったままである。しかしながら、コロナ対応に際しては議会と議論したこと、そして、たじりっち振興券を発行し、町内の店舗の振興を図られたことは評価できるものであり、賛成とする。

◎令和2年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定) 決算認定の件 【全会一致で可決】

◎令和2年度田尻町後期高齢者医療特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

◎令和2年度田尻町介護保険特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】

◎令和2年度田尻町下水道事業特別会計決算認定の件 【全会一致で可決】



9月議会 審議結果

| 意見が分かれた議案名 | 審議結果 | 仁部順行 | 金田裕治 | 吉開育子 | 小川雄司 | 東小夜子 | 中川達夫 | 大門久恭 | 原明美 | 射場隆裕 | 坂口実 |
|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|
| 令和3年度田尻町一般会計補正予算（第4号）の件 | 原案可決 | ○ | ○ | × | × | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | × |

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし

令和3年 12月議会の日程（傍聴可能なもの）

2日(木) 本会議（開会日）

3日(金) 本会議（第2日）

※2日(木)に審議が終了しなかった場合のみ開催

6日(月) 総務建設常任委員会

7日(火) 文教厚生常任委員会

8日(水) 委員会予備費

※6日(月)、7日(火)に審議が終了しなかった場合のみ開催

17日(金) 本会議（閉会日）



上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。傍聴にお越しの際は、マスクを着用いただき、席は隣との間隔を空けておかけください。



議会討論会を開催します

11月21日（日）ふれ愛センターにおいて、田尻町議会の討論会を開催いたします。

下記のテーマについて各議員が自らの考えを述べ、その後、直接町民の皆さんのご意見をお伺いしたいと考えています。議員の考えをお聞きいただくだけでも結構ですので、ご関心のある方はぜひお越しください。

*当日説明を予定しているテーマ

- ・（仮称）総合文化センターの建設について
- ・ふれ愛センターの福祉風呂の今後について

*日時 令和3年11月21日（日） 14時～

*場所 ふれ愛センター4階 研修室

※新型コロナウイルス感染症の拡大の際は中止させていただく場合があります。

なお、開催の際も会場にお入りいただく人数を制限する場合がありますので直接ご了承ください。（50人程度の予定）

災害対策特別委員会報告

消防広域化の現状と今後の課題等について

講師 田尻町安全安心まちづくり推進局 危機管理専門員
（前泉州南消防組合消防長）大西 保 氏



消防広域化による効果については消火体制、救助体制、救急体制、予防体制や地域との連携強化ができたと思う。しかし災害については自助共助の重要性、地域コミュニティの活性化、地域防災力の活性化など自分たちの力が必要になる。真剣に考えていきたい。

災害対策特別委員会委員長 東 小夜子



発生前

災害が起きる前から災害は始まっている

- ・防災計画（避難所指定）
- ・ハザードマップ
- ・防災教育
- ・自主防災組織
- ・訓練
- ・避難所指定
- ・防災・編成
- ・事前復興
- ・避難訓練
- ・情報伝達
- ・避難要支援者
- ・etc

発生直後

災害の激甚化 再起までは長い道のり

- ・災害対策本部
- ・広報、避難誘導
- ・避難所運営
- ・通信・ライフライン等復旧
- ・災害、被害状況の把握
- ・医療福祉
- ・消火・救急・救助
- ・業務継続、支援計画
- ・ボランティアの活用
- ・在宅避難、広域避難
- ・応急仮設住宅
- ・etc